

# 令和4年度小学校算数

問題番号	問題の概要	課題のある内容	学習指導要領の領域	対策例の概要（報告書等より）	関連する問題	参考	学年	時期	関連する主な単元＜東京書籍＞
1(4)	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ。	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する。	数と計算	日常生活において、数の大きさを見積もる必要があるときは、目的に応じて数を大きくみたり小さくみたりして、概算できるようにすることが重要である。その際、概数にする方法である切り上げ、切り捨て、四捨五入を用いて計算し、どの方法が適切であるかを判断できるように指導する。 ※課題のみられた問題 P6 参照 ※授業アイデア例 P16 参照	H27 B4(1) H27 B4(2) H27 B4(3) H25 A2 H24 B4(2) H21 A2(3)	・R4報告書 P20～35 ・H27報告書 P82～89 ・H27授業アイデア例 P13～14 ・H25報告書 P33～34 ・H24報告書 P250～259 ・H21報告書 P222～227	4年	10月	およその数の使い方と表し方を調べよう〔がい数の使い方と表し方〕
2(3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。	示された場面のようになり、数量が変わっても割合は変わらないことを理解する。	変化と関係	日常の具体的な場面に対応させながら、飲み物の量に対する果汁の量の割合が、飲み物の濃さを表していることを理解できるようにすることが重要である。その際、飲み物を分けても、飲み物の濃さは変わらないという生活経験を想起することが大切である。また、生活経験を基にした判断と、飲み物の量に対する果汁の量の割合を計算で求めた結果を関連付けて考えることができるようにすることも大切である。 ※課題のみられた問題 P4 参照 ※授業アイデア例 P18 参照		・R4報告書 P36～51	5年	1月 3月	比べ方を考えよう(2)〔割合〕 考える力をのばそう〔もとにする大きさに注目して〕
2(4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180ml入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く。	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する。	変化と関係	伴って変わる二つの数量を見だし、一方の数量に伴って他方の数量がどのように変化するかに着目して、未知の数量を求めることができるようにすることが重要である。その際、表に整理して、二つの数量の関係に着目することが大切である。また、二つの数量から割合を求めることができるだけでなく、示された割合になる二つの数量を求めることができるようにすることも大切である。	R3 1(2) H30 A1(1) H30 A7(2) H29 A1(1) H24 A9	・R4報告書 P36～51 ・富山県特徴的な問題 P7(5月配布) ・R3報告書 P20～37 ・H30報告書 P24～31 P52～55 ・H30授業アイデア例 P9～10 ・H29報告書 P24～30 ・H24報告書 P219～221	5年	5月 12月 2月	変わり方を調べよう(1)〔比例〕 面積の求め方を考えよう〔四角形と三角形の面積〕 多角形と円をくわしく調べよう〔正多角形と円周の長さ〕
3(3)	1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ。	目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る。	データの活用	目的に応じて、複数のグラフから適切なグラフを選択し、データの特徴や傾向を捉え、必要な情報を読み取ることができるように指導する。 ※授業アイデア例 P20 参照	H29 B4(2) H27 A7 H26 B2(3) H22 B3(1) H20 A9(1)	・R4報告書 P52～69 ・富山県特徴的な問題 P8(5月配布) ・H29報告書 P84～90 ・H27報告書 P55～56 ・H26報告書 P61～69 ・H26授業アイデア例 P19～20 ・H22報告書 P194～201 ・H20報告書 P205～207	5年	1月 3月	割合をグラフに表して調べよう〔帯グラフと円グラフ〕 算数で読みとこう〔国土をくわしく調べよう〕
4(1)	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す。	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述する。	図形	図形の学習では、図形の意味や性質を基に、辺の長さや角の大きさに着目し、図形の構成の仕方について考察できるように指導する。 ※課題のみられた問題 P5 参照 ※授業アイデア例 P22 参照	H30 A5(2) H27 A4(2) H22 A5(1) H21 A4	・R4報告書 P70～87 ・富山県特徴的な問題 P9(5月配布) ・H30報告書 P44～48 ・H27報告書 P41～45 ・H22報告書 P162～165 ・H21報告書 P229～230	3年 4年	2月 6月	三角形を調べよう〔三角形と角〕 角の大きさの表し方を調べよう〔角の大きさ〕
4(4)	示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ。	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断する。	図形	図形の学習では、図形を構成する要素に着目し、図形の意味を理解したり、図形の性質を確かめたりすることができるようにすることが重要である。示された作図の手順から、どのような図形ができるかを判断する活動では、作図の手順を基に、辺の長さや角の大きさ等からどのような図形ができるかを予想したり実際に作図したりして、図形の性質を確かめることができるように指導する。 ※授業アイデア例 P22 参照	H27 B1(1) H27 B1(2) H27 B1(3) H26 A6 H22 A7 H21 A5(3) H21 B1(2) H19 A6(2)	・R4報告書 P70～87 ・H27報告書 P62～67 ・H26報告書 P46～47 ・H22報告書 P168～169 ・H21報告書 P231～235 P244～253 ・H19報告書 P147～149	4年	11月	四角形の特ちょうを調べよう〔垂直、平行と四角形〕

対策のヒントに掲載した調査問題は、学力向上推進チームHPに設問別ワークシートとして掲載しています。

令和4年度全国学力・学習状況調査の問題のうち、本県児童生徒に課題がみられた問題に関して、その概要及び「授業アイデア例」等のページや教科書の関連単元等をまとめました。各学校の実態に応じて活用してください。